

Economic Indicators

発表日: 2024年4月26日(金)

主要経済指標予定(2024年4月29日~5月3日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(4月29日~5月3日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
4月29日 (月)					
4月30日 (火)	8:30 2月サービス産業動向調査 売上高(前年比)	—	—	—	+2.8%
	8:30 3月労働力調査 完全失業率	2.5%	2.5%	2.4%~2.6%	2.6%
	8:30 3月一般職業紹介状況 有効求人倍率	1.26倍	1.26倍	1.25倍~1.28倍	1.26倍
	8:50 3月鉱工業指数・速報 生産(前月比)	+3.7%	+3.5%	+1.2%~+4.5%	▲0.6%
		▲6.8%	—	—	▲3.9%
	8:50 3月商業動態統計・速報 小売業販売額(前年比)	+2.0%	—	—	+4.7%
	14:00 3月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比)	▲7.5%	▲7.5%	▲13.2%~▲6.8%	▲8.2%
		79.9万戸	—	—	79.5万戸
5月1日 (水)					
5月2日 (木)	8:50 3月マネタリーベース (前年比)	—	—	—	+1.6%
	14:00 3月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯、季調値)	—	—	—	39.0
	14:00 3月新車販売台数 乗用車(前年比)	—	—	—	▲18.6%
		—	—	—	▲22.0%
5月3日 (金)					

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



3月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：2.5％／1.26倍 中央値：2.5％／1.26倍

インバウンド需要の拡大等を背景に、サービス業を中心として人手不足感が強まっている。3月も失業率は低水準での推移を予想する。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

3月鉱工業生産指数 当社予想：前月比+3.7% 中央値：同+3.5%

3月の鉱工業生産を前月比+3.7%と予想する。一部自動車メーカーの工場稼働再開により輸送機械工業が持ち直すことで、3か月ぶりの上昇となるだろう。先行きは、欧州や中国向け輸出の低迷による下押し圧力は続くものの、自動車生産能力が5月にかけて正常化に向かうため持ち直しが続く見込み。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

3月小売業販売額 当社予想：前年比+2.0%

小売業販売額は前年比+2.0%と前月から上昇率が縮小すると予想。2月に増加した反動もあり、前月比でも小幅減少が見込まれる。物価高の悪影響が残存していることから、財消費は停滞感が強い状態が続いている。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

